

小城市公共施設等総合管理計画に 基づく個別管理計画(案)

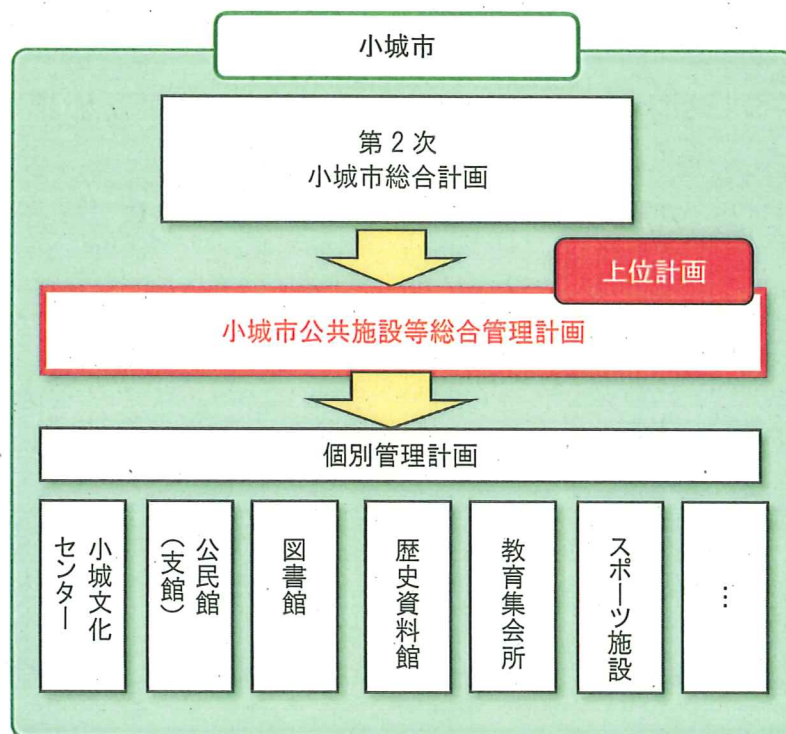
(文化施設 社会教育施設 スポーツ・レクリエーション施設編)

平成 30 年 12 月

- 【主管課】** 教育委員会生涯学習課
教育委員会文化課
産業部農林水産課
- 【連携課】** 教育委員会教育総務課

第1 個別管理計画の目的と位置づけ

個別管理計画（以下、「本計画」という。）は、平成 29（2017）年 3 月に策定しました小城市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」）の目標や方針を実現するため、施設ごとに具体的な対応方針を定めるものです。



第2 社会教育施設等の管理計画

総合管理計画における今後 25 年間の方向性は別紙管理計画による。削減目標は、市全体保有量の 5 %としています。他施設と調整を図りながら計画を進めていきます。

第3 計画期間

本計画は、平成 30 年度を初年度とし、段階的に取り組む必要があることから、第 1 期間として当面 10 年間とします。（既存計画等に従い進めるものは、この限りでない。その他、社会経済情勢やまちづくりの動向等に大きな変化が生じた場合、必要に応じて適宜見直しを実施することとします。）

第4 取組方法

(1) 個別管理計画の管理

個別施設の実施計画は事務事業を通して遂行されるため、施設所管部署が主体的に実施します。また、PDCAサイクルによる進捗管理を行い、適宜計画の見直しを行います。

(2) 実施計画の内容

実施計画の検討・策定・実施にあたっては、実務的な整理や整備手法（PFI/PPP等）の検討を行うとともに、市民説明会の開催や関係者との協議など、市民や議会、関係機関等と情報を共有し意見を聞きながら進めます。

文化施設個別管理計画

中分類又は施設名		小城市小城文化センター						
担当課名	文化課							
施設名	所在地	取得年度	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	最大階数	単独複合	稼働率	主な機能の考え方(現状と課題)
小城市小城文化センター	小城町520-1	1988	981	655	2	単独	70.1	施設には、研修室(2)、和室(2)、音楽室(1)、実習室(1)、ラウンジ(1)がある。 小城市文化連盟小城支部に管理運営を委託しており、活発な利用が行われているが、市内には類似施設である公民館や支館があり、また、近隣には小城市まちなか市民交流プラザも整備されている。 施設の状況は、開館から30年が過ぎ建物老朽化が進んでいる。
今後の施設配置及び規模の考え方		市民の文化の振興と市民相互の交流場として、当面は現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		現在は、稼働率も高く活発な利用が行われており、住民の文化振興に必要な施設であるため。						
今後の施設の方針		現在の施設をできるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修(大規模は除く)を行いながら維持管理を行っていく。 ただし、今後、老朽化が進み、使用できなくなった際は、類似施設である公民館や支館、近隣する小城市まちなか市民交流プラザ等を活用することでの廃止を検討していく。						

文化施設個別管理計画

中分類又は施設名		小城市牛津赤れんが館トイレ							
担 当 課 名		文化課							
施 設 名		所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
小城市牛津赤れんが館トイレ		牛津町牛津584-19	2007	20	20	1	単独	-	施設には、男子トイレ（小便器2、大便器和式1）、女子トイレ（和式1、様式）、多目的トイレ（1）がある。 牛津赤れんが館の利用者や観光客などから広く利用されている。 施設や利用に関する苦情・要望もなく、適正規模であると考えられる。
今後の施設配置及び規模の考え方		牛津赤れんが館の利用者や観光客などの利用のため、現在の施設を維持していく。							
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		牛津赤れんが館の利用者等の利便性維持に必要なため。							
今後の施設の方針		現在の施設をできるだけ長く利用できるように点検の強化や早期の修繕や改修を行いながら維持管理を行っていく。							

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		公民館						
担 当 課 名		生涯学習課						
施 設 名	所 在 地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
小城市小城公民館	小城市小城町253-21	2015	小城市 まちな か市民 交流プ ラザ内	49	-	-	-	小城市まちなか市民交流プラザ内に事務所がある。 会議室などは小城市まちなか市民交流プラザのものを利用している。 施設の運営管理は、小城市まちなか市民交流プラザの施設管理者が行っている。
小城市生涯学習センター	三日月町長神田1845	1995	10,743	3,619	2	複合	-	施設には、研修室（3（和室1含む））、生活工房（1）、視聴覚室（1）、多目的ホール（1）がある。また、同施設内に図書館を有する複合施設である。 校区事業や地域活動の場として、また、市内唯一の生涯学習センターとして市内外の多くの利用に供している。 施設の状況は、経年劣化により施設設備について大規模改修が必要な時期となっている。
小城市牛津公民館	牛津町柿樋瀬1100-1	1980	12,183	1,715	2	複合	-	施設には、研修室（7）、ホール（1）、和室（2）がある。 また、同施設内に図書館を有する複合施設である。 校区事業や地域活動の場としての利用に供している。 施設の状況は、平成27年度に大規模改修を行っている。 2020年にエアコン部品の製造中止により、空調設備等の改修が必要になってくる。
小城市牛津公民館別館	牛津町勝1324-1	1990	2,013	1,038	2	単独	-	施設には、研修室（9）、和室（2）がある。 校区事業や地域活動の場としての利用に供している。 他の公民館とは異なり、一部研修室を市民団体の事務所としての利用されている。

P5

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		公民館						
担当課名		生涯学習課						
施設名	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大階数	単独複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
小城市芦刈地域交流センター	芦刈町三王崎349	1982	7,280	1,756	1	複合	-	施設には、研修室（3）、和室（2）、多目的ホール（1）がある。 校区事業や地域活動の場としての利用に供している。また、同施設内に図書館を有する複合施設である。 施設の状況は、平成23年度に大規模改修（多目的ホール以外）を行っている。
今後の施設配置及び規模の考え方		地域住民の生涯学習やコミュニティの場として、現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		現在提供している住民サービスと最も身近な生涯学習や交流の拠点としての機能を維持するため。						
今後の施設の方針		現在の施設をできるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修（大規模を含む）を行いつながら維持管理を行っていく。 ただし、牛津公民館別館及び芦刈地域交流センターの多目的ホールについては、大規模改修が必要になった時には廃止の検討を行う。 各施設、更新を行う際は、総量（総床面積）縮減を原則とすると共に他施設との複合化を進めていく。						

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		公民館（支館）	
担当課名	生涯学習課		
施設名	所在地	取得年度	敷地面積（㎡）
小城市小城公民館 桜岡支館	小城町253-21	2015	27
小城市小城公民館 岩松支館	小城町松尾3780-1	1973	1,820
小城市小城公民館 晴田支館	小城町晴気2096-1	1979	2,919
小城市小城公民館 三里支館	小城町栗原1244-1	1978	1,974
今後の施設配置及び規模の考え方 小学校施設との併用、併設を原則として、現在の機能を維持していく。			
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等 住民の日頃の地域活動の拠点としてや小学校区毎のコミュニティ施設としての機能（小城公民館の補完機能）を維持していくため。			
今後の施設の方針 現在の施設をできるだけ長く利用できるように必要な修繕を行いながら維持管理を行っていくが、全体的に老朽化が進んでいるため、早急に小学校施設との併用・併設など、現在の支館全体の総量（総床面積）を縮減した施設としていく。			

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		図書館									
担 当 課 名		文化課									
施 設 名	所 在 地	取 得 年 度	敷 地 面 積 (㎡)	延 床 面 積 (㎡)	最 大 階 数	単 独 複 合	稼 働 率	主な機能の考え方（現状と課題）			
小城市民図書館小城館	小城町158-4	1998	小城市立歴史資料館内	1,136	-	-	-	小城市立歴史資料館内にある。地域の自己学習や情報収集の場として、子どもから高齢者まで幅広い層で利用されている。小城市立歴史資料館の歴史資料や美術資料を保存する収蔵スペースの確保が課題であり、小城館だけでなく図書館全体の配置を見直していくことが必要である。			
小城市民図書館三日月館	三日月町長神田1845	1995	小城市生涯学習センター内	893	-	-	-	小城市生涯学習センター内にある。地域の自己学習や情報収集の場として、子どもから高齢者まで幅広い層で利用されている。			
小城市民図書館牛津分室	牛津町勝1324-1	1980	小城市牛津公民館内	162	-	-	-	小城市牛津公民館内にある。地域の自己学習や情報収集の場として、子どもから高齢者まで幅広い層で利用されている。			
小城市民図書館芦刈分室	芦刈町三王崎349	1982	小城市芦刈地域交流センター内	172	-	-	-	小城市芦刈地域交流センター内にある。地域の自己学習や情報収集の場として、子どもから高齢者まで幅広い層で利用されている。			
今後の施設配置及び規模の考え方		市民の知的自由と生涯にわたる自己学習の場として、当面は現在の施設配置を維持していく。									
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		地域の自己学習や情報収集の場として、子どもから高齢者まで幅広い層で利用されているため。									
今後の施設の方針		現在、各図書館(室)がある施設については、できるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修（大規模を含む）を行いながら維持管理を行っていく。しかし、各図書館(室)の規模については、小城市立歴史資料館の歴史資料や美術資料を保存する収蔵スペースの確保が課題等があるため、早急に検討を開始する。									

8

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		小城市立歴史資料館						
担 当 課 名		文化課						
施 設 名	所在地	取得年度	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	最大階数	単独複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
小城市立歴史資料館（桜城館）※ 中林梧竹記念館含む	小城市158-4	1998	4,228	3,497	3	複合	-	施設には、歴史資料館常設展示室、中林梧竹記念館常設展示室、企画展示室、研修室（各1）がある。 また、同施設内に図書館を有する複合施設である。 小城市の歴史資料、中林梧竹作品を収集し展示する施設として、利用されている。 施設の状況は、歴史資料や美術資料を保存する収蔵スペースの確保が課題であり、図書館を含めた施設全体の配置を見直していくことが必要である。
今後の施設配置及び規模の考え方		市内唯一の歴史資料の収集、保管、調査、研究及び展示を行う施設として、現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		歴史資料館及び梧竹記念館は、歴史資料と文化財保護及び書家中林梧竹翁等、地域の文化と市民の教養の向上のため、施設を維持していく必要があるため。						
今後の施設の方針		現在の施設をできるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修（大規模を含む）を行いながら維持管理を行っていく。 施設の更新を行う際は、できる限り総量（総床面積）縮減を図ると共に他施設との複合化を進めていく。						

社会教育施設個別管理計画

中分類又は施設名		小城市教育集会所						
担 当 課 名	生涯学習課							
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
小城市教育集会所	小城市畑田634	1976	594	167	1	単独	-	施設には、研修室、学習室、和室（各1）がある。 主に人権教育水準の向上のための会合と地域の集会場として利用している。 施設の状況は、全体的に老朽化が進んでいる。
今後の施設配置及び規模の考え方	地域の社会教育施設として、しばらくは現在の施設を維持していく。							
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等	現在は、人権教育水準の向上のための会合と地域の集会場として利用されているが、今後については、地元との調整が必要なため。							
今後の施設の方針	現在の施設は、修繕を行いながらできるだけ長く利用できるように維持管理を行っていく。 今後、老朽化が進み大規模改修が必要に迫られる場合には、速やかに地元と施設のあり方等についての協議を開始する。							

スポーツ・レクリエーション施設個別管理計画

中分類又は施設名		スポーツ施設				
担当課名		生涯学習課				
施設名	所在地	取得年度	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	最大階数	単独複合
小城市立小城体育センター	小城市小城畑田98-1	1984	7,027	1,985	2	単独
					稼働率	
					94.5	
小城市立三日月体育館	三日月町長神田1848-9	1985	8,788	1,996	2	単独
					稼働率	
					93.4	
小城市立牛津体育センター	牛津町柿樋瀬1100-2	1981	3,430	1,737	2	単独
					稼働率	
					94.5	
小城市立牛津武道館	牛津町牛津556-1	1993	1,509	1,354	2	単独
					稼働率	
					94.5	

主な機能の考え方（現状と課題）

施設には、アリーナ、卓球場、会議室（各1）がある。
 幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く需要がある。
 施設や利用に関する苦情・要望もなく、適正に管理されている。
 施設の状況は、床の改修工事等の検討が必要になっている。

施設には、アリーナ、卓球場、会議室（各1）がある。
 幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く需要がある。
 施設や利用に関する苦情・要望もなく、適正に管理されている。
 施設の状況は、平成28年度に屋根及びアリーナ床などの大規模改修工事を行った。

施設には、アリーナ、卓球場（各1）がある。
 幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く需要がある。
 施設や利用に関する苦情・要望もなく、適正に管理されている。
 施設の状況は、床の改修工事等の検討が必要になっている。

施設には、剣道場、柔道場、会議室（各1）がある。
 幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く需要がある。
 施設の状況は、近年の暑さに対し、風通しの悪さが利用者の声としてあがっているが、施設自体は適正に管理されている。

スポーツ・レクリエーション施設個別管理計画

中分類又は施設名		スポーツ施設				
担当課名		生涯学習課				
施設名	所在地	取得年度	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	最大階数	単独複合
小城市立芦刈文化体育館	芦刈町三王崎172-1	1992	8,173	3,901	2	単独
主な機能の考え方(現状と課題)						
施設には、アリーナ、柔道場、卓球場、会議室、トレーニング室(各1)がある。 幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く需要がある。 施設や利用に関する苦情・要望もなく、適正に管理されている。 市内体育館で唯一の冷暖房設備付帯施設である。 佐賀国体(2023年度)のハンドボールとバレーボールの会場となっているため、基準に適合するための改修工事等が必要である。						
稼働率						
94.8						
今後の施設配置及び規模の考え方						
地域住民の生涯スポーツや社会体育の活動拠点として、当面は現在の施設を維持していく。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等						
地域住民にとって身近な運動拠点というだけでなく、交流の場として、幼児から小学生、中学生、高校生、社会人まで幅広く利用されており、現在の住民サービスを維持するため。						
今後の施設の方針						
現在の施設をできるだけ長く利用できるように必要な修繕や改修(大規模は除く)を行いながら維持管理を行っていく。 ただし、今後、老朽化が進み各施設が更新を迎えることは明らかである。その場合は、現在のスポーツ施設全体の総量(総床面積)縮減を原則とする。						

スポーツ・レクリエーション施設個別管理計画

中分類又は施設名		レクリエーション施設						
担 当 課 名		生涯学習課						
施 設 名	所 在 地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
三日月野外研修センター	三日月町織島2-13	1985	8,791	453	2	単独	25.0	施設には、研修棟及び宿泊棟があり、研修棟には和室と研修室（各1）、宿泊棟には宿泊室4室を備えている。 野外活動その他社会教育に係る学習の場として、地域子どもクラブから青少年スポーツクラブ、大学生、社会人と幅広く利用はされている。 施設の状況は、全体的に老朽化が進んでいる。
今後の施設配置及び規模の考え方		野外活動その他社会教育に係る学習の場として、しばらくは現在の施設を維持する。						
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等		利用率向上などの課題はあるが、地域子どもクラブから青少年スポーツクラブ、大学生、社会人と幅広く利用はされているため。						
今後の施設の方針		現在の施設は、修繕を行いながらできるだけ長く利用できるように維持管理を行っていく。 ただし、老朽が激しく使用できなくなった時には、廃止する。						

スポーツ・レクリエーション施設個別管理計画

中分類又は施設名	八丁グリーンカルチャーセンター							
担 当 課 名	農林水産課							
施 設 名	所在地	取得 年度	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合	稼働率	主な機能の考え方（現状と課題）
八丁グリーンカルチャーセンター	小城市畑田5292-1	1988	八丁グ リー ン パ ー ク 内	249	1	単独	7.5	施設には、研修室、会議室、調理室（各1）がある。 主にスポーツクラブや文化団体等の研修会場として一部利用され ている状況で利用者も少なく、稼働率も低い状況となっている。 また、施設は老朽化も進んでおり、一部雨漏り等もある。
今後の施設配置及び規模の考え方	研修会場等として利用されており、しばらくは現在の施設を継続使用するが、使用不能となった時点で廃止とする。							
上記の考え方に至った根拠・理由・検討過程等	地域住民の研修や交流を目的とした集会の場として整備された施設であるが、開設時の利用目的と現在の利用実態に相違が生じてい ると共に施設についても、一部雨漏り等があるなど老朽化も進んでいる状況であるため。							
今後の施設の方針	現在の施設は、使用が可能な期間は現状を維持し活用していくが、老朽が激しく使用できなくなった時に廃止する。 また、その時に合わせて八丁キヤンプ場及び八丁グリーンパークも廃止する。							